

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会

2023年度 通常総会

開催日時：2023年5月16日（火）午後6時30分より
開催場所：オンライン（Teams）

次 第

1. 会長演述 町田 充（さいたま赤十字病院）
1. 議長の選出
1. 議事
 - （1）第1号議案 2022年度事業報告
 - イ.一般会務報告
 - ロ.各委員会・部会報告
 - （2）第2号議案 2022年度決算報告
 - （3）第3号議案 2022年度監査報告
 - （4）第4号議案 （一社）埼玉県病院薬剤師会定款細則
・組織図の改定案の承認の件
 - （5）第5号議案 その他
1. 閉会の辞

第1号議案 2022年度事業報告

イ. 一般会務報告

4	月	19	日	第1回理事会	(オンライン会議)
4	月	20	日	第2回選挙管理人会議	於：事務局
5	月	2	日	監事による監査	於：事務局
5	月	16	日	2022年度通常総会	於：ソニックシティビル 603 会議室
5	月	16	日	第2回理事会	於：ソニックシティビル 603 会議室
6	月	3	日	埼玉県薬事団体連合会総会に町田充会長出席	
6	月	18	日	日病薬第65回通常総会に町田充会長、近藤正巳副会長、新井成俊理事、岸野亨監事が Web 参加	
6	月	21	日	第3回理事会	(オンライン会議)
6	月	24	日	CPC 令和4年度定時社員総会に大塚潔生涯研修センター長、中村房子事務局員 Web 参加	
6	月	24	日	CAPEP 第28回認証薬剤師認証研修機関協議会に濱浦睦雄評価委員長、中村房子事務局員 Web 参加	
7	月	12	日	日病薬関東ブロック第54回学術大会第1回準備実行委員会	(オンライン会議)
7	月	12	日	第1回がん教育総合支援事業におけるがん教育推進連絡協議会に佐野元彦緩和医療領域委員出席	
8	月	16	日	第4回理事会	(オンライン会議)
8	月	20	日	日本病院薬剤師会関東ブロック会長会議に町田充会長出席	
8	月	20・21	日	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会 (ハイブリッド開催)	於：神奈川県
8	月	25	日	ジェネリック医薬品研修会に濱浦睦雄・多田幸子副会長出席	
9	月	2	日	埼玉県インフルエンザ安定供給対策会議に町田充会長出席	
9	月	9	日	日病薬関東ブロック第54回学術大会第2回準備実行委員会	於：オンライン会議 小峰ビル1階会議室
10	月	14	日	日病薬関東ブロック第54回学術大会第3回準備委員会	於：オンライン会議 小峰ビル1階会議室
10	月	18	日	第5回理事会	オンライン会議
10	月	30	日	日病薬クラウド型会員管理システム説明会に町田充会長、近藤正巳副会長他総務委員が ZOOM にて出席	

10 月 31 日	第 51 回薬事衛生大会に町田充会長出席	
11 月 3 日	第 23 回県民のためのくすり講座	オンライン講演会
11 月 9 日	埼玉県薬事団体長会議に町田充会長出席	
11 月 20 日	第 28 回埼玉県薬剤師会学術大会に町田充会長出席	
11 月 22 日	日病薬関東ブロック第 54 回学術大会第 4 回準備実行委員会	オンライン会議・小峰ビル 1 階会議室
12 月 3 日	日病薬中小病院委員会担当会議に濱浦睦雄副会長、金井紀仁実習教育委員会委員 Zoom にて出席	
12 月 20 日	第 6 回理事会	オンライン会議
1 月 13 日	埼玉県薬事団体連合会新年名刺交換会特別講演会に町田充会長出席	
1 月 17 日	日病薬関東ブロック第 54 回学術大会第 5 回準備実行委員会	オンライン会議・小峰ビル 1 階会議室
1 月 20 日	CAPEP 第 29 回認定薬剤師認証研修機関協議会に大塚潔生涯研修センター長、濱浦睦雄評価委員会委員長、中村房子評価委員が Web で参加	
1 月 26 日	埼玉県薬剤師会新春賀詞交換会に町田充会長出席	
2 月 7 日	日病薬関東ブロック第 54 回学術大会第 1 回実行委員会	さいたま共済会館 601 会議室・オンライン会議
2 月 9 日	埼玉県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会に町田充会長出席	
2 月 17 日	埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター全体会	小峰ビル 1 階会議室
2 月 18 日	日病薬第 66 回臨時総会に町田充代議員、岸野亨代議員、近藤正巳代議員、新井成俊代議員が Web 参加	
2 月 21 日	第 7 回理事会	
3 月 8 日	日病薬関東ブロック第 54 回学術大会第 6 回準備実行委員会	於：小峰ビル 1 階会議室
3 月 14 日	2022 年度臨時総会	オンライン会議
3 月 19 日	日病薬第特別委員会報告「薬剤師確保に向けた取り組み」に町田充会長、田村賢士総務委員が Web 参加	
3 月 21 日	第 24 回県民のためのくすり講座	オンライン講座・浦和ワシントンホテル

ロ. 各委員会・部会報告

〔1〕 総務委員会

- (1) 総務委員会を 4 回開催しました。
- (2) 令和 4 年度第 1 回～第 7 回の理事会の準備・運営・記録を行いました。

- (3) 令和 4 年度通常総会、臨時総会の準備・運営・報告を行いました。
- (4) 会員住所録の管理及び会員名簿（2022 年版）の発行を行いました。
- (5) 会員証（2022 年版）の発行を行いました。
- (6) 薬事功労知事表彰・埼玉県薬事団体連合会会長表彰（薬事功労賞・薬事善行賞）を資料に基づき推薦作業を行い推薦者の提案を行いました。
- (7) 財務管理（予算編成も含む）を行いました。

〔2〕 広報委員会

- (1) 広報委員会を 6 回開催しました
- (2) 会誌『埼玉病薬』を 3 回発行いたしました。
 - Vol.29 No.2 2022 年 5 月発行
 - Vol.29 No.3 2022 年 9 月発行
 - Vol.30 No.1 2023 年 1 月発行

〔3〕 薬事運営委員会

- (1) 薬事運営委員会を 4 回（7・8・10・3 月）オンラインにて開催しました。
- (2) 「県民のためのおくすり公開講座」について今年度は 2 回開催しました。1 回目は 2022 年 11 月に完全オンラインにて開催し、県民 104 名の参加があった。2 回目は 2023 年 3 月に初めて集合型とオンライン同時配信にて開催した。県民の参加は約 62 名であった。また、3 月の開催は埼玉県の後援を初めて獲得しての開催であった。
- (3) 薬事研修会について、11 月 25 日に開催しました。本会賛助会員及びその他の会員を含め 78 名の参加があった。今年度も昨年同様完全オンライン開催であったが、今回は「ハイブリット開催」を視野に入れて検討する。
- (4) 災害対策について、埼玉県内の薬剤師にアンケートを実施し、126 名の薬剤師からアンケートの返答があった。今後は、このアンケート結果を元に埼玉県の災害対策を進められるように検討する。

〔4〕 実習教育委員会

- (1) 委員会（Web 開催）を 3 回開催しました。新規委員 5 名追加となりました
- (2) 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップは 2022 年 8 月 6～7 日（会場：城西大学）、2023 年 1 月 8～9 日（会場：日本薬科大学）において 2 回開催した。

年月日	主催者	参加者
2022.8.6-7 (城西大学)	埼玉県病院薬剤師会 埼玉県薬剤師会	受講者 9 人 タスクフォース 3 人

		事務局 1 人
2023.1.8-9 (日本薬科大学)	埼玉県病院薬剤師会 埼玉県薬剤師会	受講者 10 人 タスクフォース 4 人 事務局 1 人

- (3) 認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップは 2023 年 1 月 29 日（会場：日本薬科大学）において 1 回開催した。

年月日	主催者	参加者
2023.1.29 (日本薬科大学)	埼玉県病院薬剤師会 埼玉県薬剤師会	受講者 7 人 タスクフォース 2 人

- (4) 関東地区調整機構の会議に 4 回出席しました。
(5) 埼玉県薬剤師会 薬学実務実習委員会 年 5 回の Web 会議に日比委員と共に出席しました。

〔5〕生涯研修センター

(1) 企画委員会

研修会の事前評価を 23 回実施しました。

(2) 評価委員会

- ①委員会を 6 回開催しました。
- ②毎回の委員会では研修会事後評価、申請に基づく生涯研修認定薬剤師申請の認定などを行いました。
- ③2022 年度内に申請に基づく生涯研修認定薬剤師申請の認定は 32 件でした。
- ④本センター開催の研修会では研修受講シール付与は以下の通りでした。
G15 の研修会開催 34 回 研修受講シール付与 1 単位 668 枚・2 単位 19 枚
G15 の実施団体の研修会の開催 19 回 研修受講シール付与 1 単位 103 枚
・2 単位 213 枚・3 単位 43 枚
- ⑤研修会実施機関登録機関として G15 研修受講シールを配布する外部研修会実施機関は現在、14 団体となりました。
- ⑥「薬剤師研修手帳」の内容見直し後 2022 年度より第 4 版を使用している。
2022 年度より認定申請には【様式 2】が必要であるが、現在の所、内容不足による非認定の例はない。

(3) 実施委員会

「1」 総合研修部会

- (1) 病院薬学研修会は第 314 回から 321 回まで 8 回開催いたしました。
- (2) 日本病院薬剤師会生涯研修認定申請書に基づき、令和 3 年度分の生涯研修認定作業を行いました。埼玉県における認定申請者は 36 名で、日本

病院薬剤師会からは申請者すべてに生涯研修認定証が交付されました。

- (3) 病院見学実習の希望はありませんでした。
- (4) 埼玉県病院薬剤師会第32回新任薬剤師研修会を令和5年1月14日（土）にオンラインで開催しました。「病院薬剤師の生涯研修について」（講師：埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター長 大塚潔先生）、「若手薬剤師に向けた医療安全の話」（講師：白岡中央総合病院情報管理部医療安全管理課課長 渡邊幸子先生）、初めての試みとしてオンラインでスモールグループディスカッションを行いました。参加者は18名でした。
- (5) 埼玉県病院薬剤師会学術大会をオンライン公講演の形式で開催しました。内容は「研究発表」「改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム」「サリドマイド薬害」に関するものでした。

「2」 地域研修部会

- (1) 全体の委員会をオンラインで年2回開催しました。
- (2) 以下の研修会をオンラインで開催しました。
 - ・第35回地域ネットカンファレンス（11月25日） 参加者：36名
講演1「潰瘍性大腸炎の診断・治療まで～最近の治療も含め～」
講師：防衛医科大学校病院 消化器内科 講師 東山 正明先生
講演2「検査値の読み方～腎機能検査値について」
講師：防衛医科大学校病院 腎臓内分泌内科 星 貴文先生
 - ・2022年スキルアップ講演会（12月7日） 参加者：44名
講演1：「高血圧治療の基本と最近の話題」
講師：自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部 遠藤 啓之先生
講演2：「高血圧診療の勘どころ」
講師：自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科 宇賀田裕介先生
 - ・4ブロック合同研修会（3月1日） 参加者：35名
講演「ちょっと使える 冬～春にみる皮膚疾患小ネタ集 ～保湿の考え方を中心に～」
講師：おのだ皮膚科 小野田 雅仁 先生

「3」 特別対策研修部会

- (1) 委員会を2回開催した。
- (2) 特別対策研修会を1回行った。
 - ・第11回特別対策研修会（7月2日） オンライン研修会
『女性薬剤師の道しるべ～ライフステージに添った業務とは～』
講師：済生会本部 特別参与（薬務） 植松和子先生
西東京中央総合病院 薬剤科係長 宮里裕子先生
東名厚木病院 薬剤科 松田亜莉沙先生

参加者は計 14 名であった。

4 専門部会 がん領域

(1) 委員会は 5 回すべてオンラインで行いました。

(2) がん専門薬剤師養成のための研修会事業について

本年度は、すべてオンラインで研修会を行いました

■2022 年 4 月 21 日第 100 回抗がん剤研修会参加者：52 名

講演 1『進化する乳がんの薬物療法と副作用マネジメント』

講演 2『チーム医療による乳がんの最新治療と薬剤師への期待』

■2022 年 7 月 13 日第 101 回抗がん剤研修会参加者：73 名

基調講演『薬剤師も押さえておきたい！』シリーズ

1『CV ポート留置とその管理について』

2『大腸癌治療におけるストマケアについて』

3『大腸癌治療におけるスキンケアについて』

特別講演『大腸癌薬物療法について～最新の話題も含めて～』

■2022 年 11 月 9 日第 102 回抗がん剤研修会参加者：43 名

講演 1『リン酸化と脱リン酸化-TKI の分子基盤』

講演 2『マルチキナーゼは単剤治療から + α の併用療法へ』

～腎細胞癌の薬物治療を中心に～

講演 3『明日からできる TKI の副作用マネジメント』

■2023 年 1 月 18 日第 103 回抗がん剤研修会参加者：57 名

基調講演 1『薬剤師外来での CIN V の評価と処方提案』

基調講演 2『症例ベースで制吐療法への薬剤師の介入ポイントを一緒に考えよう』

特別講演『そこが知りたい！がん薬物療法中の糖尿病管理』

「4-2」専門部会 感染制御領域

・本年度はオンラインで、以下の 4 回研修会をオンラインにて開催しました。

この研修会では「感染制御認定・専門薬剤師」に必要な単位の発行を行いました。

2022 年 6 月 9 日第 67 回感染制御研修会 参加者 104 名

『TDM 業務（抗菌薬）の日常の疑問～みんなどうしてる？』

2022 年 8 月 4 日第 68 回感染制御研修会 参加者 54 名

『抗菌薬 TDM について上手くいかなかった例について考える』

2021 年 8 月 30 日第 69 回感染制御研修会 参加者 61 名

『薬剤師がグラム染色を抗菌薬治療支援にどう役立てていくべきか』

2022 年 11 月 17 日第 70 回感染制御研修会 参加者 73 名

『薬剤師のためのモダリティ（X 線、CT、MRT、エコー）の薬物治療への

「4-3」 専門部会 糖尿病

- (1) 委員会を2回(5月9日、10月4日)オンラインで開催しました。
- (2) 研修会を2回オンラインで開催しました。
 - ・第23回臨床業務実践講座「糖尿病」
日時;2022年7月27日(水) 18:30~20:15
参加者45名(うちCDEJ0.5単位13名配布)
 - ・第24回臨床業務実践講座「糖尿病」
日時;2023年3月7日(火) 18:30~20:15
参加者47名(うちCDEJ0.5単位認定8名)
- (3) アドボカシー活動普及のため、埼玉病薬(Vol.30 No1 2023)に
「糖尿病「アドボカシー活動」知っていますか」という記事を投稿しました。

「4-4」 専門部会 緩和医療

- (1) 委員会をオンラインで1回開催しました。
- (2) 研修会をオンラインで1回開催しました。
 - ・第15回埼玉緩和薬物療法研修会
日時;2023年3月9日(木) 18時45分~20時30分
参加者38名(うちJPPS1単位5名配布)

「4-5」 専門部会 精神科領域

- (1) 精神科薬物療法研修会をオンラインにて3回開催しました。
 - 第44回 2022年7月21日 「診療報酬改定について」
 - 第45回 2022年10月27日 「てんかんについて」
 - 第46回 2022年12月16日 「うつ病と認知症の基礎」
- (2) 委員会を5回オンラインで開催しました。

「4-6」 専門部会 妊婦授乳婦・小児科領域

- (1) 委員会をオンラインにて年1回開催しました。
- (2) 研修会をWeb形式で3回開催しました。
 - ・2022年7月28日(木) 小児領域「小児の抗菌薬適正使用」
 - ・2022年10月25日(火) 妊婦・授乳婦領域「HPVワクチンの正しい理解」
 - ・2023年1月19日(木) 妊婦・授乳婦・小児「プレコンセプションケア」

「4-7」 専門部会 輸液・栄養管理領域

- (1) 委員会

研修会の事前打ち合わせのためにWeb会議を3回開催しました。

(2) 研修会

Web形式で3回開催し、平均参加人数は50名でした。

病態別の栄養療法を中心に講習会を開催いたしました。

「4-8」専門部会 医療の質・安全領域

グループワークを主とした研修会を企画していたため、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止としました。代わりとして、会誌「埼玉病薬」に3回投稿しました。

(4) その他

- (1) 新型コロナ感染防止対策のため、すべての研修会をZOOMによるオンラインとしました。以上より本年度研修会は34回開催、参加者合計1475名で各人に希望するG15・P04・G01のシールを付与しました。(表1)
- (2) 研修会の後援のために埼玉県薬剤師会、埼玉県医師会、埼玉県看護協会、埼玉県栄養士会と協定を締結致しております。
- (3) 実施登録団体登録は輸液栄養セミナー、埼玉がん緩和ケア研究会、埼玉県合同輸血療法委員会、埼玉老年・泌尿器科研究会、病院薬剤師業務セミナー、埼玉感染症研究会、埼玉ロコモOLS研究会、リエゾンファーマシーセミナー、埼玉医療薬学懇話会、埼玉腎と薬剤研究会、日本臨床生理学会、生活習慣病セミナー、埼玉県薬剤師会、日本がんサポーターズケア学会の14団体でした。
- (4) 全体会(2月17日開催)新型コロナウイルス感染症防止のため、会議室参加15名、オンライン参加49名(合計64名)で開催した。
- (5) 生涯研修認定薬剤師証を新規9名、更新1回7名、更新2回3名、更新3回9名、更新4回1名、更新7回1名、更新8回1名、更新9回1名で合計32名に発給しました。
- (6) 研修会の参加者のアンケートは研修会ごとに集計の上、ホームページで公表している。

2022年度 研修会 実施状況(表1)

実施数	実施年月日	研修会名	参加人数	G15	P04	G01
1	2022/4/21	第100回抗がん剤研修会	52	29	23	
2	2022/6/9	第67回感染制御研修会	104	41	59	
3	2022/6/14	第133回輸液・栄養管理研修会	47	28	19	
4	2022/6/28	第314回病院薬学研修会	35	23	12	

5	2022/7/2	第 11 回特別対策研修会	14	9	5	
6	2022/7/13	第 101 回抗がん剤研修会	73	34	39	
7	2022/7/21	第 44 回精神科薬物療法研修会	41	21	19	
8	2022/7/26	第 315 回病院薬学研修会	25	14	11	
9	2022/7/27	第 23 回臨床業務実践講座「糖尿病」	45	32	13	
10	2022/7/28	第 14 回妊婦授乳婦・小児科領域研修会	64	10	23	31
11	2022/8/4	第 68 回感染制御研修会	54	20	33	
12	2022/8/26	第 316 回病院薬学研修会	19	12	7	
13	2022/8/30	第 69 回感染制御研修会	61	20	41	
14	2022/9/15	第 317 回病院薬学研修会	32	19	13	
15	2022/9/27	第 318 回病院薬学研修会	33	21	12	
16	2022/10/4	第 134 回輸液・栄養管理研修会	45	26	18	
17	2022/10/20	第 319 回病院薬学研修会	45	28	17	
18	2022/10/25	第 15 回妊婦授乳婦・小児科領域研修会	55	24	28	
19	2022/10/27	第 45 回精神科薬物療法研修会	29	9	20	
20	2022/11/9	第 102 回抗がん剤研修会	43	19	24	
21	2022/11/17	第 70 回感染制御研修会	73	25	46	
22	2022/11/25	第 35 回地域ネットカンファレンス	36	21	15	
23	2022/12/5	第 320 回病院薬学研修会	23	16	7	
24	2022/12/7	2022 スキルアップ研修会	44	23	21	
25	2022/12/16	第 46 回精神科薬物療法研修会	34	9	24	
26	2023/1/14	第 32 回新任薬剤師研修会	16	8	7	
27	2023/1/18	第 103 回抗がん剤研修会	57	18	39	
28	2023/1/19	第 16 回妊婦授乳婦・小児科領域研修会	63	20	35	8
29	2023/2/3	第 321 回病院薬学研修会	26	16	10	
30	2023/2/14	第 135 回輸液・栄養管理研修会	58	31	27	
31	2023/3/1	地域研修部会 4 ブロック（中央・東・西・北）	35	14	21	
32	2023/3/7	第 24 回臨床業務実践講座「糖尿病」	37	20	16	
33	2023/3/9	第 15 回埼玉緩和薬物療法研修会	38	16	20	
34	2023/3/12	第 21 回学術大会	19	11	8	
合計			1475	687	732	39

シール区分

参考：G15：埼玉県病院薬剤師会

P04:日本病院薬剤師会

G01:日本薬剤師研修センター

貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	100,000	210,000	-110,000
埼玉りそな普1	134,795	356,927	-222,132
埼玉りそな普2	869,494	510,861	358,633
三菱UFJ当座	1,313,578	1,124,128	189,450
埼玉りそな当座	8,813,705	8,530,550	283,155
流動資産合計	11,231,572	10,732,466	499,106
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	11,231,572	10,732,466	499,106
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	11,231,572	10,732,466	499,106
正味財産合計	11,231,572	10,732,466	499,106
負債及び正味財産合計	11,231,572	10,732,466	499,106

正味財産増減計算書

勘定科目	令和4年度 (4. 4. 1～5. 3. 31)	令和3年度 (3. 4. 1～4. 3. 31)	増 減	備 考 (令和4年度)
経常増減の部				
(1) 経常収益				
正会員会費	7,856,000	7,984,000	△ 128,000	4,000円×1,964名
特別会員会費	392,000	392,000	0	4,000円×98名
賛助会員会費	2,100,000	2,160,000	△ 60,000	30,000円×70名
事業収益				
研修事業収入	3,210,000	2,542,000	668,000	各研修会
広告収入	90,000	90,000	0	
受取補助金等				
日病薬還付金	2,431,200	2,434,800	△ 3,600	1,200円×2,026名
雑収益				
受取利息	19	17	2	預金利息
新年会収入	0	0	0	
夏季懇親会収入	0	0	0	
経常収益計	16,079,219	15,602,817	476,402	
(2) 経常費用				
給与手当	1,800,000	1,800,000	0	職員給与
事業費				
会場使用料	488,070	36,900	451,170	委員会等会場設営
会議費	240,335	67,660	172,675	
諸謝金	48,000	46,000	2,000	
通信運搬費	960,636	572,380	388,256	
印刷費	2,028,901	1,540,571	488,330	会誌、名簿
負担金	320,000	200,000	120,000	関東ブロック、薬事団体連合会
活動費	1,149,953	689,767	460,186	
雑費	864,467	685,577	178,890	
関東ブロック積立金	500,000	800,000	△ 300,000	
	8,400,362	6,438,855	1,961,507	
管理費				
給与手当	1,799,800	1,793,900	5,900	職員給与
総会費	125,433	128,900	△ 3,467	
理事会費	404,060	111,170	292,890	
役員会費	62,715	0	62,715	
旅費交通費	336,880	338,720	△ 1,840	出張費、職員通勤手当
通信運搬費	479,414	419,710	59,704	
消耗品費	836,812	545,632	291,180	
印刷費	139,750	85,570	54,180	
賃借料	1,404,472	1,504,256	△ 99,784	事務所賃料、リース代
光熱水道費	354,366	346,816	7,550	
交際費	119,994	15,000	104,994	関連団体、慶弔費
支払手数料	837,650	842,000	△ 4,350	税理士・司法書士顧問料
雑費	245,205	47,756	197,449	
租税公課	33,200	20,000	13,200	
	7,179,751	6,199,430	980,321	
経常費用計	15,580,113	12,638,285	2,941,828	
当期収支差額	499,106	2,964,532	△ 2,465,426	
前期繰越収支差額	10,732,466	7,767,934	2,964,532	
次期繰越収支差額	11,231,572	10,732,466	499,106	

財産目録

令和 5 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	現金	運転資金	100,000
	預金	埼玉りそな銀行北浦和支店普通	運転資金	134,795
	預金	埼玉りそな銀行北浦和支店普通	運転資金	869,494
	預金	三菱UFJ銀行浦和支店当座	運転資金	1,313,578
	預金	埼玉りそな銀行北浦和支店当座	運転資金	8,813,705
資産合計				11,231,572
(流動負債)	預り金		源泉所得税	
流動負債合計				0
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				0
正味財産				11,231,572

監査報告書

2022年度の事業報告・決算報告について、議事録、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び関係帳簿など監査した結果、会務及び収入支出は適正に行われたことを認めます。

5 年 5 月 11 日

一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会

監事

岸野 亨 

監事

三宮 忠 

第4号議案 （一社）埼玉県病院薬剤師会定款細則
・組織図の改定案の承認の件

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会定款細則

第1章 総則

（目的）

第1条 本細則は、一般社団法人埼玉県病院薬剤師会定款第43条に基づき、本会の運営に必要な事項を定めるものとする。

第2章 委員会

（委員会の設置）

第2条 本会は定款第3条の目的を達成するため、定款第33条に基づき次の常置委員会を設置し、定款第4条に定める事業を行う。

- （1） 総務委員会
- （2） 広報委員会
- （3） 薬事運営委員会
- （4） 実習教育委員会
- （5） 災害・救急委員会
- （6） 中小病院・診療所委員会
- （7） 地域連携委員会
- （8） インシデント・アクシデント委員会
- （9） 感染対策委員会
- （10） 生涯研修センター

2 本会は前項の委員会のほか、理事会において必要と決議された委員会を臨時的に設置および運営等することができる。

3 委員会は、委員長、副委員長、委員、および担当幹事によって構成される。委員長および担当幹事には、本会の理事が就任する。

4 委員会の委員には、本会理事会において承認された本会正会員が就任する。ただし、理事会が特に認めた場合は、本会特別会員および本会事務局員を委員に、本会会員以外の有識者を外部委員に、それぞれ就任させることができる。

（総務委員会）

第3条 総務委員会は本会の円滑な運営のために以下の業務を行う。

- （1） 本会の事業計画・報告の統括と、総会等の準備及び運営を行い、会全体の総務・庶務・備品管理を行う。
- （2） 予算編成及び決算、会費等の管理の財務管理を行う。

(3) 会員情報および会員施設の情報管理及び会員証発行を行い、会員管理全般の管理を行う。

(4) 他団体との情報交換・交流の窓口等を行う。

(広報委員会)

第4条 広報委員会は本会会員および県民への広報活動を行うために以下の業務を行う。

(1) 本会の会誌発行事業やホームページの掲載内容を担う。

(2) 本会会員や県民への情報発信を行い、広報全般を行う。

(3) 本会の広報活動に関して各委員会の活動に協力する。

(4) 他団体との情報交換・交流の窓口等を行う。

(薬事運営委員会)

第5条 薬事運営委員会は本会会員および県民への薬事に係る活動を行うために以下の業務を行う。

(1) 県民のために、公開講座の企画・運用を行う。

(2) 薬事関連者への最新の医療薬学関連情報を伝達する。

(3) 診療報酬改訂による各施設への調査や対策を行う。

(4) 会員の帰属意識向上のために、会員の満足度調査等を行う。

(実習教育委員会)

第6条 実習教育委員会は本会会員施設での薬学実務実習を円滑に行うために以下の業務を行う。

(1) 薬学実務実習の問題点や課題の抽出および解決策等を行う。

(2) 薬剤師タスクフォースの育成、交流、情報共有を行う。

(3) 他団体との情報交換・交流の窓口等を行う。

(災害・救急委員会)

第7条 災害・救急委員会は災害時および救急領域における薬剤師の人材育成および活動を支援するために以下の業務を行う。

(1) 県内の災害・救急に関わる薬剤師の調査を行い、災害・救急に関わる人材を把握する。

(2) 県内の災害・救急に関わる薬剤師の育成を行う。

(3) 他団体との情報交換・交流の窓口等を行う。

(中小病院・診療所委員会)

第8条 中小病院・診療所委員会は県内の中小病院・診療所等の薬剤師の活動を支援するために以下の業務を行う。

- (1) 県内の中小病院・診療所と連携して問題点や課題、要望事項等を抽出しその対策を講じる。
- (2) 中小病院・診療所の立場から各委員会の活動に協力する。
- (3) 他団体との情報交換・交流の窓口等を行う

(地域連携委員会)

第9条 地域連携委員会は県内の地域連携を推進するために以下の業務を行う。

- (1) 県内の地域病院、薬局等と連携して問題点や課題を抽出し、その対策を講じる。
- (2) 県内の地域病院、薬局等に情報発信・共有事業を行う。
- (3) 他団体との情報交換・交流の窓口等を行う。

(インシデント・アクシデント委員会)

第10条 インシデント・アクシデント委員会は県内の医療安全を推進するために以下の業務を行う。

- (1) 県内の医療安全に関する研修終了者、認定専門者の把握をする
- (2) 医療安全のクリニカルインディケーターの選出と収集を行い、問題点や課題を抽出し、対策を講じる。必要に応じて情報発信・共有事業を行う。
- (3) 他団体との情報交換・交流の窓口等を行う。

(感染対策委員会)

第11条 感染対策委員会は県内の医療機関等の感染対策を推進するために以下の業務を行う。

- (1) 県内の感染に関する研修終了者、認定専門者の把握をする。
- (2) 感染のクリニカルインディケーターの選出と収集を行い、問題点や課題を抽出し、対策を講じる。必要に応じて情報発信・共有事業を行う。
- (3) 他団体との情報交換・交流の窓口等を行う。

第3章 生涯研修センター

(生涯研修センターの設置)

第12条 本会は定款第4条に定める事業を行うため、主に薬剤師を対象とした研修事業を実施するために生涯研修センター（以下、本センターという）を設置し、以下の業務を行う。

- (1) 本センターは、研修認定薬剤師制度に基づいた生涯研修の場をすべての薬剤師

に提供すると共に、薬剤師としての知識と能力、技能を啓発し、高揚するために研修を実施する。また、研修修了に基づいた単位を付与および規程の単位を取得した薬剤師を研修認定薬剤師として認定して、県民のために貢献できる薬剤師を誕生させることを目的とする。

(2) 本センター各小委員会の研修会の企画基本方針は、会員から評価が高い研修内容を企画し、研修会の評価項目の1つに「認定取得者の誕生（複数）」とする。また、薬剤師の自己満足の研修企画にとどまらず、「実践的で行動変容につながる研修」を企画する。

(3) 本センターには、次の小委員会および部会を設置する。

- ① 企画小委員会
- ② 評価小委員会
- ③ 実施小委員会－総合研修部会
- ④ 実施小委員会－地域研修部会
- ⑤ 実施小委員会－特別対策研修部会
- ⑥ 実施小委員会－がん領域専門研修部会
- ⑦ 実施小委員会－感染制御領域専門研修部会
- ⑧ 実施小委員会－糖尿病領域専門研修部会
- ⑨ 実施小委員会－緩和医療領域専門研修部会
- ⑩ 実施小委員会－精神科領域専門研修部会
- ⑪ 実施小委員会－妊婦授乳婦・小児科領域専門研修部会
- ⑫ 実施小委員会－輸液・栄養管理領域専門研修部会
- ⑬ 実施小委員会－医療の質・安全対策領域専門研修部会

(企画小委員会)

第13条 企画小委員会は以下の業務を行う。

(1) 本会の実施要綱に従い、実施される研修会の事前評価を行う。

(評価小委員会)

第14条 評価小委員会は以下の業務を行う。

(1) 本会の実施要綱に従い、実施された研修会の事後評価をする。

(2) 個々の薬剤師からの認定申請を客観的に評価の上、研修認定薬剤師として認定する。

(実施小委員会 総合研修部会)

第15条 実施小委員会 総合研修部会は以下の業務を行う。

(1) 病院薬剤師として業務を行う上で必要な資質および幅広い領域の知識を学習する

機会を提供することを目的として、以下のことを実施する。

- ①幅広い領域の研修会の企画・運営
- ②入職から3年目までの薬剤師を対象とした研修会の企画・運営
- ③学術大会の企画・運営
- ④他施設見学の要請への対応

(実施小委員会 地域研修部会)

第16条 実施小委員会 地域研修部会は以下の業務を行う。

- (1) 会員の地域性や所在に合わせての基礎知識や技術力向上のために講演や実技演習を中心に研修会を企画・運営する。
 - ①会員個人の能力を向上させるスキルアップ研修会の企画・運営
 - ②個別の疾患ガイドラインや実臨床の治療法を盛り込んだ地域ネットカンファレンス研修会の企画・運営
 - ③各ブロック研修会（東、西、中央、北）の企画・運営

(実施小委員会 特別対策部会)

第17条 実施小委員会 特別対策部会は以下の業務を行う。

- (1) 各専門部会では取り扱いがなく、注目度が高い研修や専門領域とは重複しない実務的な内容を盛り込んだ研修会を多くの会員に提供することを目的に企画・運営する。

(実施小委員会 がん領域専門研修部会)

第18条 実施小委員会 がん領域専門研修部会は以下の業務を行う。

- (1) がん医療に精通した認定薬剤師を増やしていくため、若手薬剤師ががん医療に興味をもてるような研修会を継続的に企画・運営する。
- (2) がん医療に精通した薬剤師のすそ野を広げることともに、認定取得者の専門性の質の向上と継続したモチベーションを維持できる研修スキームを構築する。
- (3) 埼玉県薬剤師会との連携により、行政の取組に応じて、保険薬局との合同研修を立案・企画・運営する。

(実施小委員会 感染制御領域専門研修部会)

第19条 実施小委員会 感染制御領域専門研修部会は以下の業務を行う。

- (1) 感染制御や感染症に関する高度な知識、技術、実践能力等の必要な知識を習得できるような満足度の高い研修会の企画・運営する。
- (2) 感染の認定資格を取得できる研修会の企画・運営をする。そのために本委員会委員が教育・支援をする体制を構築する。

(実施小委員会 糖尿病領域専門研修部会)

第 20 条 実施小委員会 糖尿病領域専門研修部会は以下の業務を行う。

- (1) 糖尿病の薬物治療だけではなく、患者の生活に寄り添った療養指導のための研修会の企画・運営をする。他職種チーム医療も含む。
- (2) 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) や糖尿病薬物療法認定薬剤師が取得できる研修会の企画・運営をする。
- (3) 糖尿病治療の指導管理料に専門領域の加算が取得できるための調査・研究・発表を行う。
- (4) 糖尿病患者へのアドボカシー (支援) 活動を企画して実施する。

(実施小委員会 緩和医療領域専門研修部会)

第 21 条 実施小委員会 緩和医療領域専門研修部会は以下の業務を行う。

- (1) 緩和医療の薬物療法に関する研修会の企画・運営をする
- (2) 緩和医療に携わる薬剤師の連携に関する研修会の企画・運営をする。
- (3) 緩和医療領域の認定・専門資格取得できる研修会を企画。運営する。
- (4) 緩和医療の普及に向けた啓発活動を企画して実施する。

(実施小委員会 精神科領域専門研修部会)

第 22 条 実施小委員会 精神科領域専門研修部会は以下の業務を行う。

- (1) 精神科に纏わる県民の社会へのニーズに応えるための研修会を企画・運営をする。
- (2) 精神疾患への理解とその薬物療法の適正化、ならびに医療に貢献できる知識・情報伝達の研修会を企画・運営する。
- (3) 精神科領域の認定薬剤師が所得できる研修会を企画・運営する。

(実施小委員会 妊婦授乳婦・小児科領域専門研修部会)

第 23 条 実施小委員会 妊婦授乳婦・小児科領域専門研修部会は以下の業務を行う。

- (1) 妊婦授乳婦・小児科領域の薬物療法に関する疑問を提示し、種々の情報源を元に、患者へ注意すべき必要な情報を学ぶ研修会を企画・運営する。
- (2) 県内の薬剤師とその情報を共有する体制を構築する。
- (3) 妊婦授乳婦・小児科領域の専門資格が取得できる研修会を企画・運営する。

(実施小委員会 輸液・栄養管理領域専門研修部会)

第 24 条 実施小委員会 専門研修部会 輸液・栄養管理領域専門研修部会は以下の業

務を行う。

- (1) 各疾患における栄養療法の重要性と最新の情報を発信する研修会を企画・運営する。
- (2) 栄養療法に興味をもち、資格取得ができる研修会を企画・運営する。
- (3) 多職種でのアプローチを見据えて、薬剤師以外の職種の参加も受け入れる。

(実施小委員会 医療の質・安全対策領域専門研修部会)

第25条 実施小委員会 医療の質・安全対策領域専門研修部会は以下の業務を行う。

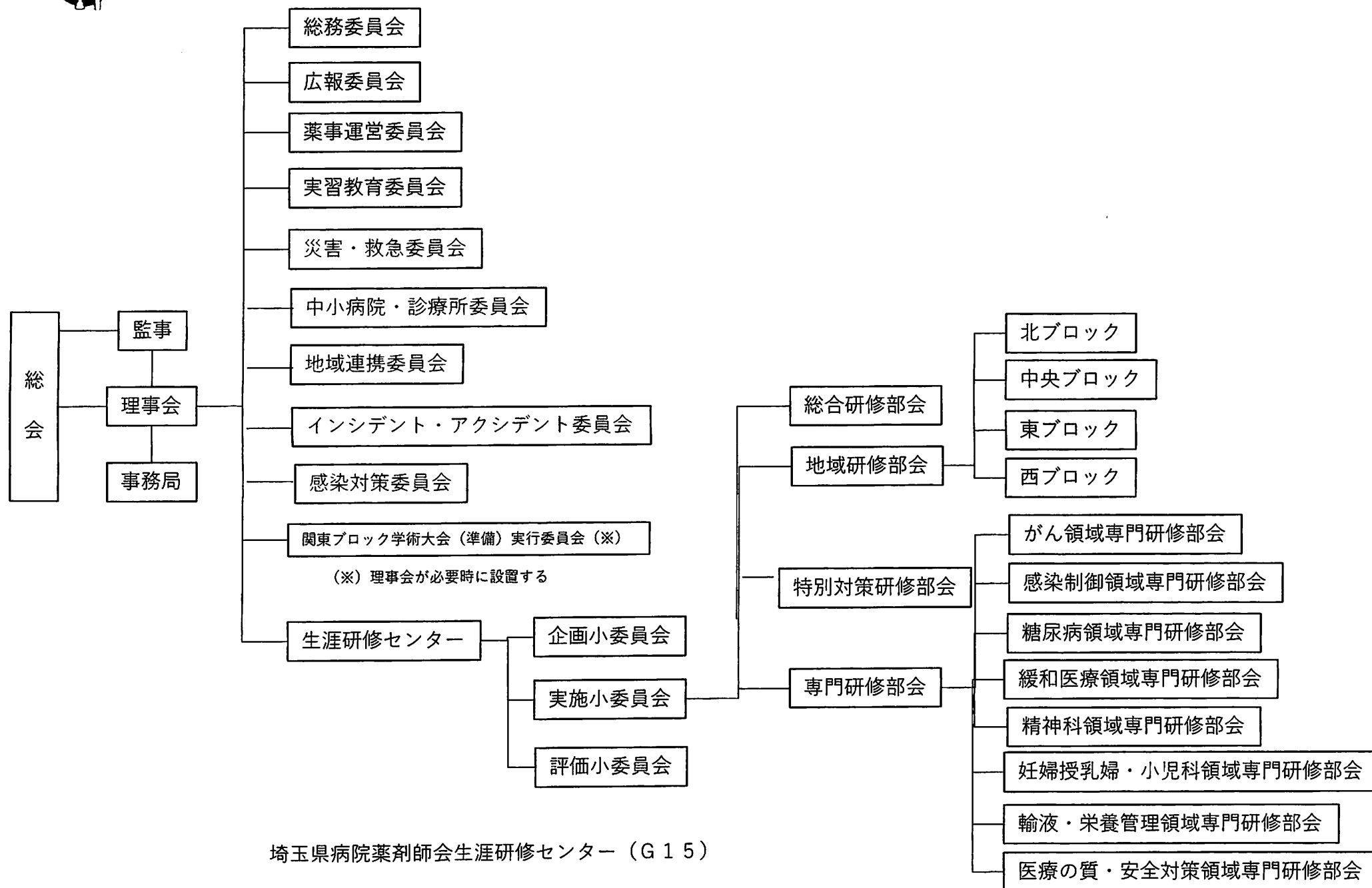
- (1) 医療の質・医療安全の薬物療法の推進のための研修会を企画・運営をする。
- (2) 医療の質・医療安全に長けた薬剤師のための研修会を企画・運営する。
- (3) 医療の質・安全部会から最新情報を、会誌等を利用して発信する。
- (4) 医療の質・医療安全に関する他施設からの相談応需の体制を構築する。

附則 本細則は令和5年3月20日より施行する。

令和5年5月16日 一部改定



一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会 組織図 (2023年5月現在)



第5号議案　その他